

製紙・板硝子・セメント等業種の進捗状況の概要(2008～2012年度5カ年の実績)

資料3-2

	目標指標	基準年度	目標水準	2008～2012年度5ヶ年平均実績(基準年度比)	(参考1)目標達成率	(参考2)連続目標達成期間	(参考3)目標の引き上げ	電力係数を固定した場合の実績(基準年度比)	今後予定しているクレジット等による補填措置	「低炭素社会実行計画」(2013年度以降の取組)策定状況
日本製紙連合会	CO2排出原単位	1990年度	▲16%	▲21.7%	135.6%	2008～2012年度	2004年度 ▲0%→▲10% 2007年度 ▲10%→▲16%	▲23%	—	▲139万トン (BAU CO2排出量)
	エネルギー原単位	1990年度	▲20%	▲24.8%	123.8%	2008～2012年度	2004年度 ▲10%→▲13% 2007年度 ▲13%→▲20%	—	—	
セメント協会	エネルギー原単位	1990年度	▲3.8%	▲4.4%	117.0%	2010～2012年度	2007年度 ▲3%程度→▲3.8%	—	—	▲5.6万キロリットル (BAU エネルギー消費量)
日本印刷産業連合会	CO2排出量	2005年度	▲7.7%	▲7.4%	96.0%	—	—	▲17%	—	2010年度比▲8% (CO2排出量)
日本染色協会	CO2排出量	1990年度	▲62%	▲66.3%	106.7%	2012年度	2012年度 ▲61%→▲62%	▲67%	—	2013年度内に策定予定
	エネルギー消費量	1990年度	▲55%	▲60.9%	109.5%	2012年度	2012年度 ▲54%→▲55%	—	—	
板硝子協会	CO2排出量	1990年度	▲22%	▲37%	169.4%	2008～2012年度	—	▲39%	—	1990年度比▲35% (CO2排出量)
	エネルギー消費量	1990年度	▲21%	▲38%	178.7%	2008～2012年度	—	—	—	
日本ガラスびん協会	CO2排出量	1990年度	▲40%	▲53.4%	131.1%	2008～2012年度	2005年度 ▲21.5%→▲40%	▲55%	—	1990年度比▲60% (CO2排出量)
	エネルギー消費量	1990年度	▲30%	▲41.5%	138.3%	2008～2012年度	2005年度 ▲12.6%→▲30%	—	—	
日本衛生設備機器工業会	CO2排出量	1990年度	▲25%	▲50.3%	201.7%	2008～2012年度	2007年度 ▲20%→▲25%	▲53%	—	1990年度比▲35% (CO2排出量)
プレハブ建築協会	CO2排出量	2001年度	▲15.2%	▲13.4%	87.6%	—	—	▲15.4%	—	2010年度比▲10% (CO2排出量)

(注1)電力のクレジット等調整後排出係数と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

(注2)着色している業種は、2008～2012年度の5年間の平均値で目標を達成している業種(電力係数を固定した場合の実績で達成している業種、クレジット等による補填を予定している業種を含む)。

(注3)(参考1)は、目標を過不足なく達成している場合を100%として、目標水準に対する達成度合いを示したもの。

(注4)(参考2)は、2012年度に目標を達成している業種のうち、2008～2012年度の直近で現行目標水準を連続達成している期間。

(注5)(参考3)は、これまで目標を変更した年度及びその水準。

(注6)「電力係数を固定した場合の実績」は、2008～2012年度の電力排出係数を「電気事業連合会が目標を達成した場合」に固定した場合の基準年度実績からの削減率。CO2関連目標(CO2排出量、CO2原単位)の業種のみ記載。

(注7)「今後予定しているクレジット等による補填措置」は、今後目標達成のために予定しているクレジット等の活用についてを記載。